



有家中だより No4

令和8年 7月7日

南島原市立有家中学校

校長 本 多 洋 二

待望の夏休み！

いよいよ18日から待望の夏休みが始まります。長い夏休みをどう過ごすかで、2学期以降の学校生活に影響します。規則正しい生活でリズムを崩さないようご家庭でもご配慮ください。大切なのは「生活のリズムを崩さないこと」です。

さて、夏休みに入ると、令和8年度、長崎県中学校総合体育大会が7月25日(土)～27日(月)の3日間開催されます。

本校から県大会に出場する競技は次のとおりです。

○25日(土)

団体競技、

◎男子バレーボール競技：対福江中

長崎市民体育館にて

◎剣道競技(男子)対東長崎中、愛野中

・個人戦、小松対松尾(御厨中)

シーハットおおむらにて

◎剣道競技(女子)対福江中、川棚中

シーハットおおむらにて

○26日(日)

◎硬式テニス(男子シングルス)

白石対高橋(長崎東中) かきどまり庭球場

◎空手競技(女子団体戦 組手)

対福田中(長崎市)

女子個人戦出場(形)荒木、小嶺

佐世保市県立武道館にて

○27日(月)

◎卓球競技(女子個人戦出場)対後藤(長与中)

佐世保市東部スポーツ広場体育館にて

◎バドミントン競技(女子ダブルス)

田中・岡野ペア対池田・林ペア(日宇中)

シーハットおおむらにて

それぞれの競技において、これまでの練習の成果を発揮し、悔いの残らない試合になることを願っています。そして、健闘を祈ります。

活躍！生徒会役員

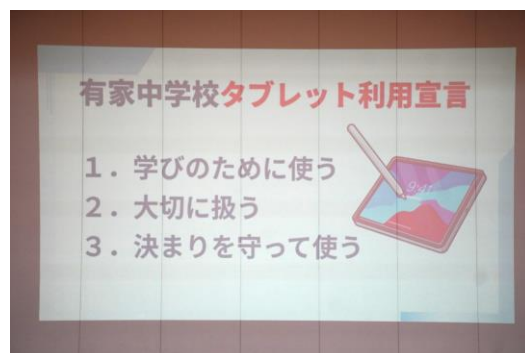
去る7月2日(木)、全校生徒に対して、生徒会によるメディア宣言を行いました。SNSやスマホの使い方が問題になっている昨今、使い方について、自分たちで考え、自分たちでルールを作り守っていくことを狙いに実施しました。



<メディア宣言を行う生徒会役員>

<学校メディア宣言>

- 1.、ながらメディアをしない。(勉強中・食事中)
- 2.、時間を決めて使用する。(SNSは21時まで)
- 3.、発信モラルを考える。(相手が傷つく内容・個人情報)
- 4.、正しい情報を見抜く力をつける。(本当に正しいかどうか、疑問を持つ)
- 5.、安全に気を付けて使用する。(困ったときは大人に相談)



<タブレット利用宣言>

- 1.、学びのために使う。(意味のない検索やゲームなどはしない。)
- 2.、大切に使う。(借り物という意識、卒業後は、後輩が使う。)
- 3.、決まりを守って使う。(人の撮影はダメ)

7月・8月の主な行事

◎7月

17日(金) 1学期終業式 県中総体激励会

18日(土)～夏季休業

28日(火) 社会を明るくする運動弁論大会(2名参加)

29日(水)～5日(水) 1・2年(二者面談) 3年生(三者面談)

◎8月

9日(日) 登校日(平和集会 8:40コレジヨホール集合)

20日(木)・21日(金) 登校日(実力・課題テスト)

22日(土) はまんこら祭り(ソーラン節出演) 18:30～

9月1日(火) 2学期始業式

<7/4(土) PTA 学級対抗モ
ルック大会を行いました。>



<盛り上がりました>



ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

有家っ子の心を見つめる教育週間では、多数の地域の方々、保護者の皆さまに来校していただきありがとうございました。本号では自尊感情を高めるための保護者のかかわり方を、述べてみたいと思います。

子どもの自尊感情を育てる保護者のかかわり方

子どもたちが健やかに成長していくためには、「自分は大切な存在である」「自分にはできることがある」と感じられる自尊感情を育むことが大切です。その土台をつくるのは、学校だけではなく、家庭での毎日の温かなかかわりです。子どもの自尊感情は、一日で育つものではありません。毎日の温かな声かけや、子どもの頑張りを認める積み重ねが、「自分にはできる」「自分は大切な存在だ」という気持ちを育てていきます。

「自分には価値がある」「自分は大切な存在だ」と感じられる心は、子どもが困難に立ち向かい、夢や目標に向かって挑戦する力の土台になります。保護者の皆様には、ぜひ次のようなかかわりを意識していただければと思います。

○結果だけでなく、努力や過程を認める。

○「ありがとう」「助かったよ」と感謝の言葉を伝える。

○子どもの話を最後まで聞き、気持ちを受け止める。

○他の子と比べるのではなく、その子自身の成長に目を向ける。

○「あなたならできる」「応援しているよ」と信じる気持ちを言葉で伝える。

子どもは、大人から認められ、信じてもらえることで、自分自身を信じる力が身に付いていきます。子どもの自尊感情も同じです。毎日の「おはよう」「おかえり」「よく頑張ったね」「ありがとう」という温かな言葉の積み重ねが、自分を大切に思う心を育てます。学校でも、一人一人のよさや頑張りを認め、安心して挑戦できる環境づくりに努めてまいります。ご家庭でも、お子様の小さな成長を見つけ、認め、励ます言葉をかけていただければ幸いです。学校と家庭が力を合わせ、子どもたちが「自分は大切な存在だ」と実感できる毎日をつくっていきたいと思います。